

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

▼ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		前回の外部評価で指導があった地域との関わりについてを現在会議等で話しあっている。「地域内の奉仕活動には、出来るだけ参加をして行く」「ホームを知ってもらう為に買い物は地域の商店を利用する」
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		7月頃より隣のヤクルト販売所より訪問し、個別対応でヤクルトを購入している。職員のサポートにより現金で購入する方もいます。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		地域自治会の活動が余り盛んではない。参加出来ることを探して行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>月1回程度ホーム内で喫茶店を開催している。ご利用者様の交流を目的としている。</p>		<p>職員と、ご利用者様共同で喫茶店を敷地内で出来るように、併設ホームと相談して行きたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の結果を参考に今後の業務に役立て行きたい。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>参加は少ないが、個別面談の様に話しをする事もある。開催内容や、日時を検討して行きたい。</p>		<p>参加者にはホームの状況、入居、退居の報告などを行っている。次回開催の報告と、内容も説明する様にしてみる。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護保険課より生活指導員が月1回ホームを訪問しご利用者様の様子を確認している。年2回介護保険主催により地域の施設の方と一緒に意見の交換会を行い交流をしている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>埼玉県で開催する講習会などには参加する努力をしている。</p>		<p>全職員参加出来る様に対応出来る様に促して行きたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加し、参加者主催で職員会議を使い話し合っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な時間を取り、出来るだけ細かく話しをする。ご家族様が質問しやすい状態にしている。フロア長を同席し、契約中の内容を一緒に確認して頂いています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>お客様相談室を設けご家族様からの苦情や意見などを参考にして、今後の事業所の運営に反映している。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回収支報告、近況報告などを会報と一緒に郵送している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>お客様相談窓口を設けている。出来るだけホーム内で対応出来る様にしている。ご家族が、話し易い環境作りを目指している。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議で意見を話し合う。業務中気づいた点は、職員同士で話し合う、なるべく解決出来る様に検討しています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の協力体制、急な勤務変更にも、柔軟に対応して下さっています。正職員の業務負担も常勤者の協力により改善されています。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>個人の事情にもよるが、ご利用者様との送別会を開催する事もあります。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社3年目までフォローアップ研修を社内で行っています。段階別研修などもあり参加出来る様に検討しています。		社内研修があり、社外まで参加が難しいが、今後参加出来る様に検討して行きたい。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護保険課主催で地域の方達と一緒に意見交換会などは行っているが、会議等で話し合った事などは中々結果として戻って来ていない。		今後話し合った内容が今後の運営に役立てられる様に、又ケアなどが相談出来る関係になる様に努力して行きたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間で平等に、月末に希望をとり、公休が取れる様にしている。		日帰り旅行や、食事会などを計画して職員同士の交流を検討して行きたい。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	分からない事や職員の質問には出来るだけ答えられる様にしている。ケア計画ポイント研修には、職員で順番に参加出来る様にシフトの調節を行っている。興味がある物や、業務に役立てられる様な内容の研修には、希望を伺い参加が出来る様に対応している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	一人一人行動を把握する、傾聴する事で信頼関係を築く焦らせない対応を心がけている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居後の変化、ご家族の知らない事を伝える、出来るだけ時間ももち信頼関係を築く様に努力する。見学时に相談を受けた時なども対応出来る様にしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個人を理解する為会議や、日常の会話を通して努力している。他のサービスも必要なのか検討する。ご家族とも充分話し合い納得したサービスを支援している。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人がどうしたいのか、傾聴し観察し引き出す。ご家族と思いが一致しない時もある。本人らしい生活が出来る様にご家族を交えてカンファレンスを行う時もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個人の生活の中で得意な事を発揮出来る様に支援して行く。本人の自信になる様にサポートしながら行い、学ばせて頂いています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との外出の様子を伺う、日常生活の中で役立てる。呼びかけなども、ご家族の意向も尊重し検討する。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族の立場になり対応する。笑顔で対応出来る様に支援する。状況の変化は早目に連絡し、相談に応じて頂く様に対応している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族と協力し本人の思いを重視し大切にしてい。ご家族にも協力して頂く様に支援している。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	重度の方に時間をかけてしまうが、軽度の方の内面も考えてる。職員会議を使いケアについてのカンファレンスを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>近隣でお会いした時などは、挨拶をする様にしています。以前退居されたご家族様から紹介を頂いた事があります。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
<p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>対応困難な時は早目に職員を変えてみる。強い言葉使いにならない様に対応している。</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入院中の様子は、ご家族と連絡を取り合う、必要な時は病院主治医の話しに立ち会える様にご家族にお願いします。出来るだけ入院が長くない様に面会を頻回に対応する。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>色々な角度から観察し、機会が有るごとに職員からの意見を頂く。</p>		<p>今後臨時のカンファレンスにご家族様が参加出来る様に対応して行きたい。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族の意向を伺う。カンファレンスに取り入れて行く。御家族様が訪問診療医師の訪問日に対応出来る様に検討して頂いています。</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>レベル低下や、退院後のケアプランを見直す。カンファレンスを行ない再度ご家族様から意向や、今後の対応方法を検討している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録を細く記入し情報を共有する。生活記録ファイルにプランを挟み身近な物にして行く。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外食、外出をご家族の理解の上で実施している。		前回の外部評価で、外出の機会が少ないと指摘があり、各階で行事の中に取り組む様に対応している。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議の時などを使い、地域の方の参加が出来る様に対応しています。		毎年クリスマスには、コーラスグループの方の演奏がある。隣接する(すこや家)にも声をかけている。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	以前は社会福祉協議会の安心サポートを利用していた時は、生活相談員さんと活動内容についてカンファレンスを行っていた。現在は医療訪問医師の訪問日にご家族様の立会いをお願いして、治療の方針などを検討している。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	以前は、社会福祉協議会の安心サポートを使用していた。		包括支援との関係が薄い、お互いの役割を再度検討して行きたい。良い関係を築いて行きたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前から関係があったご利用様が風邪等で病院に受診する際は、ご家族対応で以前のかかりつけ医院を利用する事もあります。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神面にての相談が出来る様になっている。介護者の意見など重要視して下さる。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制看護師による、毎週1回の訪問、健康状態や、職員からの相談助言など精神面の対応もして下さる。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院後は、定期的に面会をする、早期の退院を行ないホームへ戻る様な支援が来ています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	全職員の意識を向上させる為、職員会議を使い説明している。		8月頃からターミナルについて対象のご家族、主治医と話しをしている、ホームでの限界を話し、今後の対応について納得して頂き、出来る限りの対応を検討している。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームでの限界をご家族に話す、出来るだけ協力出来る様に対応している。ご家族様と主治医と連携を取り早期の対応に努める。現在ターミナルに向け講習など参加出来る体制を準備している。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	医療の必要性を主治医と、ご家族と十分に検討し、本人が一番良い方法を選択していく。高齢なご家族様には事業者で出来る事は協力している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>声かけなど、言葉使いに気をつける。自尊心を傷つけない様に対応する。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>観察するし様子を見る。本人の動きを、声かけのタイミングを計り対応する。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>お誕生日会など本人の好きな食べ物を用意する。外食を兼ねた企画もある。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>訪問理容、美容、個人対応の美容、男性は、好んで理髪店に皆さんで行く。毎月ご利用者様とどうするか検討している。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>おやつ作りや、行事を利用者様と計画して、メニューを決め、買い物や調理などを行ない楽しみながら参加して頂いています。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>現在ホーム内では喫煙は禁止してしている。主治医の了解を取り検討する。入居前の実調査で、聞き取りをしている。喫煙スペースが無い為、どうしてもご家族様には主治医の診断を頂、ご家族様と外出の際に喫煙をお願いしています。現在は喫煙希望者はいません。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄表を使いリズムを読み取る、ご利用者様のサインを観察する。紙パンツを直ぐに対応しない様に十分に検討する。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>拒否をしてしまう方の内面のケアをする。ご利用者様が平均で入れる様に声かけをする。なるべく希望が叶うように対応している。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>就寝時間は決まっているが、個人のペースに合わせた対応をしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>本人の経歴などを参考し支援している。趣味を活かす生活が生きがいになる様な働きかけをしている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>隣のヤクルト販売所の訪問時、職員のサポートにより現金購入を支援している。</p>		<p>ご家族に預かり金の使い方について、入居時に説明している。個人的買い物に行き好きな物を購入する様にしている。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>各階ごと行事を計画し外出などの支援をしている。</p>		<p>前回の外部評価の指摘後、各階で計画をして楽しめる様な計画を立てています。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>ご家族様の行事と、ホームの行事が重なった時はご家族優先で対応している。行事の中で温泉旅行も計画して行きたい。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様に事前に電話の対応を検討して頂く。ご家族様の中には電話の拒否をしている方もいる為、別の対応も検討している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	個人の居室や、窓側のソファーなどを使いくつろげる様になっている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加する事で知識を高めている。参加した内容を職員会議などを使い話し合っています。講習や研修に職員が参加出来る様にシフトの調節を対応している。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関を出ると直ぐ私道の為、ご家族と話し合い施錠をしている。		ご家族様の中には、安全の為施錠をして欲しいという希望もあります。運営推進会議や、家族会を使い検討が必要です。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	就寝中の安全の為、居室の扉を少し開ける。就寝するまでは、閉めて対応する方もいます。施設の中で事務所から見えない居室があります。日中、夜間を問わずフロア内で記録を書く様に対応しています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	面会に預かったお菓子などは、職員が声かけをして個別の対応をしている。飴など危険な物は、ご家族に話し事務所管理をお願いしている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書、緊急対応、防火通報などがスムーズに出来る様に、過去の事例を使い職員会議で検討している。職員間で事故報告書を共有する事で再発防止に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全体会議を使い説明する。特変者の対応などは、検討事例を出し話し合う。3ヶ月に一度系列のホームで行うAED講習会に順番で参加したり、運営推進会議を使い避難訓練を行っています。		ご家族様にも参加して頂く様に近隣の施設と相談し地域の消防署の講習会に参加を促して行きたいです。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の協力を頂実施している。隣接する、すこや家と合同で実施する時もあります。		近隣には、案内を出す参加はほとんど無いので今後どの様に関わりを持つか検討して行きたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	月1回会報と一緒に状況の変化もお知らせしている。早期の対応をする事でご家族様も安心しホームに預けて下さっています。訪問診療時にご家族様に立ち会って頂き今後の治療について検討している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ささいな事でも申し送りをしている。出来るだけ職員には、早めに知らせる、ご利用者様に対しての意識を持って頂く。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定時薬ではなく、新しい薬の処方時は、職員が分かる様に回覧する。事務所内の申し送りノートを使い周知している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分量や、レクリエーションの運動、散歩、おやつで食品で取る様に努力している。		下剤に頼らないように、職員が会議などで検討し対応している。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後習慣的に歯磨き、うがいを実施している。衛生士の助言や、訪問診療歯科医師の訪問の際、ご家族の立ち会って頂き、治療方針を決めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士により献立のバランスを考え管理している。		病状によっては、主治医より栄養ドリンク(ラコール)などを出して頂いています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入院中の洗濯物はご家族が対応し、退院時は出来るだけ病院の衣服で戻らない様に話しています。面会時に玄関で消毒を行って頂く様に協力体制をお願いしています。		疥癬などの研修に参加し知識を増やしたいです。出来るだけ多くの職員が参加出来る様に促していきたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	給食部(ニフス)さんにお任せしている。ホームでは、食事の箸や、スプーンなどは、消毒する様に対応しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関回りに季節の花を咲き、和める様になっている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、生花やトイレに観葉植物を置き、気持ちを和める空間を作る様に対応している。玄関の壁画は、季節事によって季節間を出しています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	窓側のソファなど好きな所でくつろげる様になっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様の馴染みな物を居室に置き、生活して頂いています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	掃除の際は、窓を開け換気をする様に対応している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	介護が必要なご利用者様には、居室のベットを移動したり、見守りが出来る様にご家族様と相談し決めている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご利用者様の目線で表札を作る、入居時はトラブルになりやすいので、職員が見守り、声かけ誘導し、困らない様に対応する。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	洗濯物を干せる様になっている。花壇があり季節の花が植えである。ご利用者様と一緒に花積みなどを行っている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一人ひとりの方に添った支援を常に心がける。技術はもちろん傾聴をする事でご利用者様を良く認識する。常にやさしい気持ちで対応する。穏やかに安心した生活が出来る(ところ)になって下さる様援助している。